



平成28年8月25日
海上保安庁

「港則法施行規則の一部を改正する省令」について

1. 背景

「海上交通安全法等の一部を改正する法律（平成28年法律第42号）」が平成28年5月12日に成立し、同月18日に公布されました。

雑種船に係る改正規定については、平成28年11月1日に施行されますが、これに伴い、港則法施行規則において、「雑種船」を「汽艇等」とする等の改正を行う必要があります。

【参考】

※ 「雑種船に係る改正」とは、港則法において「雑種船」を「汽艇等」とし、総トン数20トン未満の汽船を汽艇というものとする改正のこと。

2. 改正の概要

「雑種船」を「汽艇等」とする名称変更を行うほか、所要の形式的改正を行います。

3. 今後のスケジュール

公 布 : 平成28年 8月25日 (木)

施 行 : 平成28年11月 1日 (火)

平成28年11月に改正港則法が一部施行され、
「**雑種船**」が「**汽艇等**」となり、対象範囲が変更されます。

雑種船の名称及び対象範囲の変更 (港則法第3条第1項)

【改正前】

この法律において、「**雑種船**」とは、**汽艇**、はしけ及び端舟その他ろかいのみをもって運転し、又は主としてろかいをもって運転する船舶をいう。



【改正後】

この法律において、「**汽艇等**」とは、**汽艇(総トン数20トン未満の汽船をいう。)**、はしけ及び端舟その他ろかいのみをもって運転し、又は主としてろかいをもって運転する船舶をいう。

(改正前)

ざっしゅせん
『**雑種船**』

名称の変更



(改正後)

きていとう
『**汽艇等**』

対象範囲の変更



汽艇
活動範囲が**主として港内**
であるか否かで判断

総トン数20トン
未満の汽船(注1)(注2)
総トン数が**20トン未満か**
20トン以上で判断

対象がより明確
になります

(注1) 「汽船」は動力船の総称です。

(注2) 長さには関係なく、総トン数が20トン以上であれば、「汽艇等」には含まれません。

この改正により、主として港外で活動していた総トン数20トン未満の動力船(プレジャーボート、漁船等)が、港内を航行するときは、「**汽艇等**」となります。

また、主として港内で活動していた総トン数20トン以上の動力船(タグボート、遊覧船等)が、港内を航行するときは、「**汽艇等**」以外の船舶となります。

「汽艇等」、「汽艇等以外の船舶」に適用されるルール等

【新たに「汽艇等」となる船舶に適用されるルール】

- ・港内での避航義務(港則法第18条)
- ・みだり係留の禁止(港則法第9条)

新たに「汽艇等」となる船



<イメージ>

主として港外で活動していた総トン数20トン未満

【新たに「汽艇等」以外となる船舶に適用されるルール】

- ・港に出入する際の航路航行義務(港則法第12条)
- ・移動の制限(港則法第7条)
- ・修繕、係船届の届出義務(港則法第8条)

新たに「汽艇等」以外となる船



<イメージ>

主として港内で活動していた総トン数20トン以上

なお、義務・免除規定(ルール)の内容については、これまでと変更はありません。

<イメージ図>

汽艇(機関を用いて推進する船舶で比較的小型のもの)

機関を用いて推進しない船舶

① 新たに対象外となる船舶

総トン数20トン以上

港内で活動する汽船

港内で活動する
タグボート、港内遊覧船 等



「雑種船」: + +

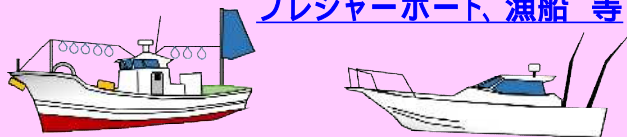
「汽艇等」: + +

② 新たに対象となる船舶

総トン数20トン未満

港外で活動する汽船
が港内にある場合

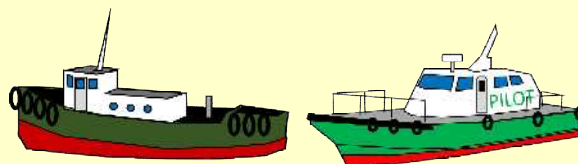
港外で活動する
プレジャーボート、漁船 等



③ 現状から変更なし

総トン数20トン未満

港内で活動する汽船



④ 現状から変更なし

はしけ、端舟、ろかい船

